

介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

1 職務の理解 (6時間)				
研修に先立ち、これから介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。				
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法		
1. 多様なサービスの理解	2時間	<講義> ・介護保険サービス(居宅・施設) ・介護保険外サービス(障害・児童系サービス)		
2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4時間	<講義> ・多様な居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・施設、居宅サービス提供現場の具体的なイメージ(視聴覚教材等を利用して理解を深める。) <演習> ・利用者花田さんの事例を通じてケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れ チームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携について話し合う		
合計	6時間			
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)				
介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 人権と尊厳を支える介護 (1) 人権と尊厳の保持 (2) ICF (3) QOL (4) ノーマライゼーション (5) 虐待防止・身体拘束禁止 (6) 個人の権利を守る制度の概要	6時間	1.5時間	4.5時間	<講義> ・人権と尊厳の保持 ・法制度(個人情報保護法・成年後見制度・日常生活自立支援事業)の成り立ちや法や制度・目的的理解 <通信> ・ICFの基本的思考と介護分野におけるICFの視点 ・QOLの基本的思考と介護分野におけるQOLの視点 ・ノーマライゼーションの考え方 ・高齢者虐待防止法等と虐待・身体拘束の現況・原因 <演習> ・日頃、講師や受講者が身近に感じる偏見や差別についてグループで思いつく意見を出し合い討議する
2. 自立に向けた介護 (1) 自立支援 (2) 介護予防	3時間	0時間	3時間	<通信> ・自立・自律支援 ・介護予防の考え方
合計	9時間	1.5時間	7.5時間	
3 介護の基本 (6時間)				
・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。 ・介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 介護職の役割、専門性と多職種との連携 (1) 介護環境の特徴の理解 (2) 介護の専門性 (3) 介護に関わる職種	1.5時間	0時間	1.5時間	<通信> ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護に関わる職種
2 介護職の職業倫理	1.5時間	1.5時間	0時間	<講義> ・介護職員の専門性 ・介護職員の職業倫理 ・介護職としての社会的責任 <演習> ・テキストの事例に基づき「自分であればどの場面で、どのような対応をしていきたいと思うか、グループ討議を行う。
3 介護における安全の確保とリスクマネジメント (1) 介護における安全の確保 (2) 事故予防、安全対策 (3) 感染対策	1.5時間	0時間	1.5時間	<通信> ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・感染対策
4 介護職の安全	1.5時間	1.5時間	0時間	<講義> ・ストレスマネジメント ・腰痛予防、健康管理
合計	6時間	3時間	3時間	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)				
介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1 介護保険制度 (1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向 (2) 仕組みの基礎的理解 (3) 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割	6時間	0時間	6時間	<通信> ・介護保険制度 ・介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ・介護保険制度の仕組みの基礎的理解 ・介護保険制度を支える財源、組織・団体の機能と役割
2 医療との連携とリハビリテーション	1.5時間	1.5時間	0時間	<講義> ・医療との連携とリハビリテーション <演習> ・リハビリテーションの意義、目的に関して医療との連携を鑑みながらグループ討議をする
3 障害者総合支援制度及びその他の制度	1.5時間	0時間	1.5時間	<通信> ・障害者福祉制度の理念 ・障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要
合計	9時間	1.5時間	7.5時間	

5 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)				
高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解している。				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 介護におけるコミュニケーション (1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 (2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション (3) 利用者、家族とのコミュニケーションの実際 (4) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際	3時間	0時間	3時間	<通信> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
2. 介護におけるチームのコミュニケーション (1) 記録における情報の共有化 (2) 報告 (3) コミュニケーションを促す環境	3時間	3時間	0時間	<講義> ・記録における情報の共有化 ・報告 ・コミュニケーションを促す環境 <演習> ・テキストの男の子と母親のかかわりについてグループで再現して共感技法について学ぶ
合計	6時間	3時間	3時間	
6 老化の理解 (6時間)				
加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 老化に伴うところとからだの変化と日常 (1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 (2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響	3時間	0時間	3時間	<通信> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響
2. 高齢者と健康 (1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点	3時間	3時間	0時間	<講義> ・高齢者の疾病と生活上の留意点 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 <演習> ・高齢者の疾患による症状の変化に気づくための留意点に関してグループ討議を行う
合計	6時間	3時間	3時間	
7 認知症の理解 (6時間)				
介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 認知症を取り巻く状況	1時間	0時間	1時間	<通信> ・認知症ケアの理念
2. 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2時間	0時間	2時間	<通信> ・認知症の概念 ・認知症の原因疾患とその病態
3. 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 (1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 (2) 認知症の利用者への対応	2時間	2時間	0時間	<講義> ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ・認知症の利用者への対応 <演習> ・テキスト上の3人の認知症の人の記述を読み、認知症の生活障害・心理・行動に関してグループ討議を行う
4. 家族への支援	1時間	1時間	0時間	<講義> ・家族への支援
合計	6時間	3時間	3時間	

8 障害の理解 (3時間)					
障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要	
1. 障害の基礎的理解 (1) 障害の概念とICF (2) 障害者福祉の基本理念	0.5時間	0.5時間	0時間	<講義> ・障害の概念とICF ・障害者福祉の基本理念	
2. 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (1) 身体障害 (2) 知的障害 (3) 精神障害 (高次脳機能障害・発達障害も含む) (4) その他の心身の機能障害	2時間	1時間	1時間	<講義> ・身体障害 ・知的障害 <通信> ・精神障害 (高次脳機能障害・発達障害を含む) ・その他の心身の機能障害 <演習> ・難病者の心理の実際に関してテキストの事例を読み、本人への支援に関してグループ討議を行う	
3 家族の心理、かかわり支援の理解	0.5時間	0時間	0.5時間	<通信> ・家族への支援	
合計	3時間	1.5時間	1.5時間		
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)					
・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要	
I 基本知識の学習	1. 介護の基本的な考え方	4時間	3時間	1時間	<講義> ・理論に基づく介護 (ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除) ・法的根拠に基づく介護 <通信> ・理論に基づく介護 (ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除)
	2. 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4時間	3時間	1時間	<講義> ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 ・こころの持ち方が行動に与える影響 ・からだの状態がこころに与える影響 <通信> ・学習と記憶の基礎知識
	3. 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4時間	3時間	1時間	<講義> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識 ・こころとからだを一体的に捉える ・利用者の様子の普段との違いに気づく視点 <通信> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識
II 生活支援技術の講義・演習	4. 生活と家事	2.5時間	1.5時間	1時間	<講義> ・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援 <通信> ・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援
	5. 快適な居住環境整備と介護	2.5時間	1.5時間	1時間	<講義> ・快適な居住環境に関する基礎知識 ・高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 <通信> ・高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法
	6. 整容に関連したこころとからだしくみと自立に向けた介護	7時間	6時間	1時間	<通信> ・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術 <演習> ・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術 ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 ・身じたく ・整容行動 ・洗面の意義・効果

	7. 移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	6 時間	1 時間	<p><通信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗に関する基礎知識 ・さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法 ・利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところからだの要因の理解と支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者と介護者の双方が安全で安楽な方法 ・利用者の自然な動きの活用 ・残存能力の活用・自立支援 ・重心・重力の働きの理解 ・ボディメカニクスの基本原則 ・移乗介助の具体的な方法（車いすへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車いす間の移乗、全面介助での車いす・洋式トイレ間の移乗） ・移動介助（車いす・歩行器・つえ等） ・褥瘡予防
	8. 食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	6 時間	1 時間	<p><通信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識 ・食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ ・楽しい食事を阻害するところからだの要因の理解と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事をする意味 ・食事のケアに対する介護者の意識 ・低栄養の弊害 ・脱水の弊害 ・食事と姿勢 ・咀嚼・嚥下のメカニズム ・空腹感、満腹感、好み ・食事の環境整備（時間・場所等） ・食事に関する福祉用具の活用と介助方法 ・口腔ケアの定義 ・誤嚥性肺炎の予防
	9. 入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	6 時間	1 時間	<p><通信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に関連した基礎知識 ・さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害するところからだの要因の理解と支援方法 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・羞恥心や遠慮への配慮 ・体調の確認 ・全身清拭（身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方） ・目・鼻腔・耳・爪の清潔方法 ・陰部清浄（臥床状態での方法） ・足浴・手浴・洗髪
	10. 排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	6 時間	1 時間	<p><通信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害するところからだの要因の理解と支援方法 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的な方法 ・便秘の予防（水分の摂取量保持、食事内容の工夫／繊維質の食物を多く取り入れる、腹部マッサージ）
	11. 睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	6 時間	1 時間	<p><通信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害するところからだの要因の理解と支援方法 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安眠のための介護の工夫 ・環境の整備（温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室） ・安楽な姿勢・褥瘡予防
	12. 死にゆく人に関連したところからだのしくみと終末期介護	5 時間	4 時間	1 時間	<p><通信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識とところからだのしくみ ・生から死への課程 ・「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨終が近づいたときの兆候と介護 ・介護従事者の基本的態度 ・多職種間の情報共有の必要性
Ⅲ 生活支援技術演習	13. 介護過程の基礎的理解	5 時間	5 時間	0 時間	<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護課程の目的・意義・展開 ・介護課程とチームアプローチ
	14. 総合生活支援技術演習	6 時間	6 時間	0 時間	<p><演習></p> <p>（事例による展開）</p> <p>生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。</p> <p>○事例の提示→ところからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題（1事例1. 5時間程度で上のサイクルを実施する）</p> <p>○事例は高齢（要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可）から2事例を選択して実施</p>
	合計	75 時間			

10 振り返り (4時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
1. 振り返り	2時間	<講義・演習> ・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点 (利用者の状態像に応じた介護と介護課程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等)
2. 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2時間	<講義・演習> ・継続的に学ぶべきこと ・研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージができるような事業所等における実例 (OFF-JT、OJT) を紹介
合計	4時間	
全カリキュラム合計時間	130時間	

スクーリング日程表（予定）

事業者名 大原医療福祉専門学校

研修期間 12月～3月

	研修日	研修時間	時間数	科目	項目	科目	受講予定場所
						(項目・科目名)	
講義・演習（実習）	1日目	9:30～10:00				開講式・オリエンテーション	大原医療福祉専門学校 視聴覚室
		10:00～12:00	2	(1)	①	多様なサービスの理解	
		12:50～14:50	2	(1)	②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	
		15:00～17:00	2	(1)	②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	
	2日目	10:00～11:30	1.5	(2)	①	人権と尊厳を支える介護	
		11:35～13:05	1.5	(3)	②	介護職の職業倫理	
		13:55～15:25	1.5	(3)	④	介護職の安全	
		15:30～17:00	1.5	(4)	②	医療との連携とリハビリテーション	
	3日目	10:00～11:30	1.5	(5)	②	介護におけるチームのコミュニケーション	
		11:35～13:05	1.5	(5)	②	介護におけるチームのコミュニケーション	
		13:55～15:25	1.5	(6)	②	高齢者と健康-①	
	4日目	10:00～12:00	2	(7)	③	認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	
		12:05～13:05	1	(7)	④	家族への支援	
		13:55～14:25	0.5	(8)	①	障害の基礎的理解	
		14:25～15:25	1	(8)	②	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴 かかわり支援等の基礎的知識	
	5日目	15:30～17:00	1.5	(9)	①	介護の基本的な考え方	
		10:00～11:30	1.5	(9)	①	介護の基本的な考え方	
		11:35～13:05	1.5	(9)	②	介護に関するところの仕組みの基礎的理解-①	
		13:55～15:25	1.5	(9)	②	介護に関するところの仕組みの基礎的理解-②	
	6日目	15:30～17:00	1.5	(9)	③	介護に関するからだの仕組みの基礎的理解-①	
		10:00～11:30	1.5	(9)	③	介護に関するからだの仕組みの基礎的理解-②	
		11:35～13:05	1.5	(9)	④	生活と家事	
	7日目	14:00～15:30	1.5	(9)	⑤	快適な住環境整備と介護	
		10:00～11:30	1.5	(9)	⑥	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		11:35～13:05	1.5	(9)	⑥	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		13:55～15:25	1.5	(9)	⑥	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	8日目	15:30～17:00	1.5	(9)	⑥	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		10:00～11:30	1.5	(9)	⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		11:35～13:05	1.5	(9)	⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		13:55～15:25	1.5	(9)	⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	9日目	15:30～17:00	1.5	(9)	⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		10:00～11:30	1.5	(9)	⑧	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		11:35～13:05	1.5	(9)	⑧	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	10日目	13:55～15:25	1.5	(9)	⑧	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		15:30～17:00	1.5	(9)	③	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		10:00～11:30	1.5	(9)	⑨	入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		11:35～13:05	1.5	(9)	⑨	入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	11日目	13:55～15:25	1.5	(9)	⑨	入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		15:30～17:00	1.5	(9)	⑨	入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		10:00～11:30	1.5	(9)	⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		11:35～13:05	1.5	(9)	⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	12日目	13:55～15:25	1.5	(9)	⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		15:30～17:00	1.5	(9)	⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		10:00～11:30	1.5	(9)	⑪	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		11:35～13:05	1.5	(9)	⑪	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	13日目	13:55～15:25	1.5	(9)	⑪	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		15:30～17:00	1.5	(9)	⑪	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
		10:00～11:30	1.5	(9)	⑫	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	
		11:35～13:05	1.5	(9)	⑫	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	
	14日目	13:55～14:55	1	(9)	⑫	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	
15:00～18:00		3	(9)	⑬	介護過程の基礎的理解		
10:00～11:00		1	(9)	⑬	介護過程の基礎的理解		
11:10～12:10		1	(9)	⑬	介護過程の基礎的理解		
13:10～14:40		1.5	(9)	⑭	総合生活支援技術演習		
15日目	14:50～15:50	1	(9)	⑭	総合生活支援技術演習		
	16:00～17:00	1	(9)	⑭	総合生活支援技術演習		
	10:00～11:30	1.5	(9)	⑭	総合生活支援技術演習		
全講座終了後	11:40～12:40	1	(9)	⑭	総合生活支援技術演習		
	13:40～14:40	1	(10)	①	振り返り		
	14:50～15:50	1	(10)	①	振り返り		
	16:00～18:00	2	(10)	②	就労への備えと研修修了後における継続的な研修		
89.5							
全講座終了後	18:30	1				試験	大原医療福祉専門学校 視聴覚室